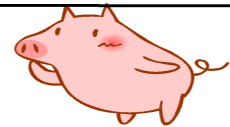




- ①第2回安全委員会 支部会議室
6月15日(金)11:00～13:00
- ②第142回道路美化・清掃活動
6月19日(火)10:00～ 前半グループ
- ③平成30年度「舗装診断士」等試験
6月24日(日)9:30～ 沖縄大学
- ④第40回定時総会・意見交換会等
6月25日(月)15:30～ ザ・ナハテラス

会員だより



道路土工/ICT施工の現場紹介

建設産業の年齢人口が減少することが予想されている中、建設分野において、生産性向上は避けられない現状である。国土交通省が推奨致しております建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組である ICT (i-Construction) 情報化施工を活用した当社現場実績をご紹介します。

工事名：平成 29 年度小禄道路周回道路等整備工事
今回の工事で道路土工を ICT 施工で実施しました。準備計画では、起工測量を地上型レーザースキャナーを用いた 3 次元データを作成し施工・出来形計測帳票作成を実施した結果、現場での施工効率や出来形精度、安全性が大幅に向上し、環境負荷の低減にも貢献出来ました。施工効率では、3次元設計データをもとに切土、盛土の施工を行い丁張り設置や検測回数が減ることにより、工程短縮とコストの削減が図れた。特に工期が厳しい中、夜間作業でも効率良く施工が行えた点は大きかった。施工精度については、3次元設計データをもとにGNSS機器及び補正情報(ネットワーク型RTK)を搭載したバックホウ 0.8 m 3 を用い高精度マシンコントロール(自動制御)を行った。仕上げ精度や出来形確認を3次元のポイントデータによる出来形評価・データと3次元設計データを重ね合わ

株式会社 屋部土建 代表取締役社長 津波 達也

せ出来形の良否判定を確認、規格値を満足する事が出来ました。又、施工後のレーザースキャナーでの出来形計測による点群データ処理による高精度な土量数量算出も行う事が出来ました。安全面でも建設機械周辺での測量や作業指示、作業補助作業等建設機械との接触の危険性が削減され、安全にも寄与できた。

今回の道路土工での ICT 施工は、予想以上の成果が発揮出来たと感じました。今後のさらなる情報化施工の進歩に伴う施工性能・施工効率の向上・安全性確保・現場環境の改善など多方面で活用でき建設産業の技術向上・これからの社会資本整備へ期待できます。



土工事ICT施工状況



マシンコントロールシステム画面

【土木本部課長：永山 達昭】

会員だより



現場の安全管理について

支部会員の皆さま、ちゅー・うがなびら
今回は弊社が施工した「平成 28 年度恩納 BP6 号橋下部工 (A1 ~ P7) 工事」を紹介します。本事業は、恩納村瀬良垣から南恩納を結ぶ国道58号のバイパス事業の延長5.1 Km 4車線道路、現在、全線暫定2車線が開通しています。

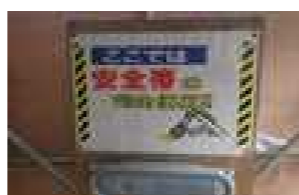
本工事の特性は、現場のアクセスに農道を利用しなければならない事でした。着工前に、周辺地域の農家に聞き取り調査を行い、工事協力願い等を配布、狭い交差点にカーブミラーを設置し安全な運行ルートを確認し、工事完了後は農家の要望によりミラーを存置しました。大型工事車両との離合を回避するために運行ルートの工夫、農道脇に大型工事車両の通行状況の周知看板を設置し、通行日は黄色い旗を掲示しました。地域農家の協力により路上駐車がなくなりました。又、現場入口、足場登り口にアナウンス付人感センサーを設置し注意喚起を行いました。道建協の安全パトロールは好評でした。弊社、安全パトロールの他に本社

株式会社 大城組 常務取締役 仲西 聡

女子職員による現場視察を行い、現場作業環境の改善点について意見交換等を行いました。地域住民からの苦情はなく無事故・無災害で工事を完成することができました。



通行状況の周知看板



アナウンス付人感センサー



園児たちから勤労感謝の前日に手作りのリースのプレゼントを頂きました

【監理技術者：金城 健】

株式会社 大米建設 企画・広報委員 石垣 永健

①沖縄都市モノレールPC軌道桁架設工事！

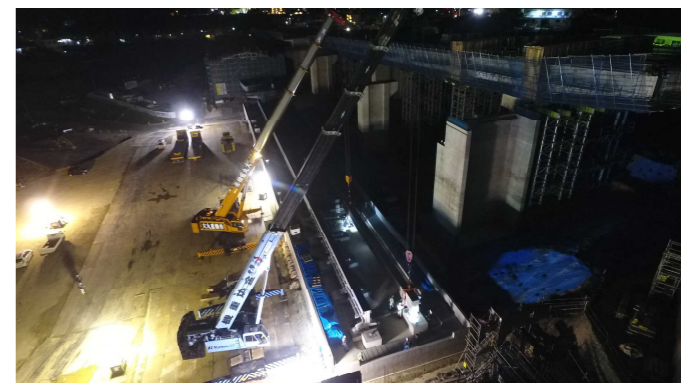
沖縄都市モノレールの延伸工事が、平成 31 年度早期開業に向けて、着々と進んでおり、PC 軌道桁架設工事は、地下構造部を除くほとんどで架設作業が完了しています。

弊社としても、延伸工事の最初の桁架設工事(平成 28 年 2 月)と、直近において浦添前田駅付近と、てだこ浦西駅付近の架設工事を行っています。

PC 軌道桁の積込から運搬・架設は夜間工事で行われ、綿密なミーティングを行い、しっかりと安全管理のもとで慎重に作業を行います。

まず積込作業ですが、PC 軌道桁の長さは 18m ~ 22m と長く門型クレーンにより、トレーラーへゆっくりと積み込みます。次に運搬作業は交通規制を伴い、誘導員の配置・先行車、先導車、トレーラー後方警戒車を配置し、各チェック箇所においてピン入れ固縛確認等を行います。そして架設作業は、道路の交通規制を行い、200t 吊クレーンと 160t 吊クレーンの相吊り工法により、ゆっくりと慎重に設置し、午前 4 時ごろに道路交通規制を解除し作業終了となります。一連の作業を無事故で完了しました。

モノレール延伸部沿線では開発が進められており、ゆたかなまちづくりが推進されることが期待されています。観光客も年々増加しており、延伸部開業以降さらに沖縄観光の魅力が向上することを期待しています。



②第141回 道路美化・清掃活動 復帰記念日に清掃活動を実施しました！

復帰記念日の5月15日に16社19名の参加で道路美化活動を実施しました。梅雨入り後でしたが天気に恵まれました。これからは、熱中症対策を心がけ活動に取り組んでいきます。

